

高齢社会という 新しい時代に向けて

無会派 森田 完一



問：高齢者に多い認知症
といわれる方々の配偶者や
子ども等の親族は、大きな
精神的な悩みと経済的負担
を抱え、その大変さは想像
以上です。これは社会全体
の問題であり、国が対策を
示せるならば、その方針に
従うことが自然ですが、現
実に悩んでいる親族等の実
情を感じとれるのは、実際
に窓口で相談を受ける市職
員であると思います。認知
症に対する今後の市の対策
について考えを伺います。

答（市長）：介護が必要
となってもその人らしい生
活を自分の意思で送ること
を可能とすること、すなわ
ち高齢者の尊厳を支えるケ
アの実現を基本とした介護
保険制度を持続することが
重要であると思います。市
は、この制度を有効に利用
し、親身に相談を受けるこ
とが、認知症を含む介護が
必要な方々の社会生活を支
援し、自助・共助・公助に
基づいた社会環境をつくる
ことにつながると考えます。

釜坂川の浸水対策 進捗状況はどうか

新政海クラブ 藤澤 菊枝



問：釜坂都市下水路は、
流域途中の杉久保・中土合
橋の上流で、永池川に流す
整備は完了していますが、
下流部分については、水路
の整備が進んでいません。
特に県道藤沢厚木を横断し
ている箇所は、たびたび雨
による浸水が発生していま
す。県道藤沢厚木は、市と
藤沢方面を結ぶ重要な路線
であるほか、周辺にはバス
路線もあるため、生活には
欠かせない道路です。この
箇所における浸水対策につ
いて、進捗状況を伺います。

答（建設部次長）：当初
の計画では、流末の雨水は
すべて県道藤沢厚木に雨水
管を布設し、永池川に放流
する計画でしたが、県道に
は、地下埋設物等が錯綜し
ており、工事が困難なため、
計画を変更し、上流部を永
池川へ放流することになり
ました。また、下流部分は、
県道杉久保座間沿いにU型
水路を布設し県道藤沢厚木
の北にあるボックスカルバ
ートを活用し処理すること
としました。20年度は、
引き続き、測量・土質調査、
実施設計を行い、整備工事
は、21年度から24年度ま
での4年間でやっていく予
定です。



▲大雨による浸水が
懸念される釜坂川

中学校給食、開始時期・ 保護者負担どうなる

市政クラブ 外村 昭



問：3月定例会で、中学
校給食については選択制デ
リバリー方式（弁当給食）
による完全給食を実施する
方向で進めているとのこと
でしたが、給食開始の時期
について、いつを目標に考
えているのか伺います。ま
た、給食費については、こ
れから検討される事項と思
いますが、保護者負担、公
費負担の比率をどうするの
か教育委員会の基本的な考
えを伺います。

答（理事兼教育部長）：
中学校給食については、当
初は2校程度での試行的な
導入を予定しています。試
行も含めて、できるだけ早
期に実施できるように考え
ていますが、方法や事業者



▲北海道北見市学校給食センター視察

国保税―一世帯あたり 年間1万円の値下げを

共産党 佐々木 弘



問：市では、19年度だ
けでも1億6000万円の
国保税滞納が発生し、過去
の分を含めると17億円に
上ります。国保税を1年間
以上滞納した場合は、病院
窓口で医療費の全額負担を
求められ、必要な医療を
質的に受けられなくなりま
す。国保税が高すぎて払い
たくても払えない状況を改
善し、安心して必要な医療
が受けられるようにするこ
とが求められています。

答（保健福祉部長）：国
保制度は、負担能力が低い
方が多いという構造的な要
因があり、種々の軽減措置
を講じていますが、すでに
法定繰入金に加え、一般会
計からも多額の繰り入れを
行っている中、さらに国保
財政調整基金を取りくずし
ての国保税引き下げは、基
金の設置目的とも異なり、
引き下げは考えていません。

火災報知器の設置 高齢者へ助成を

公明党 福地 茂



問：統計によると、住宅
火災による死者は6割が逃
げ遅れであるとのことだ
す。逃げ遅れによる死者の発生
を防ぐためには、火災報知
器の設置は有効な手段と考
えます。火災報知器を設置
している住宅での火災の死
者は1・9人で、設置され
ていない住宅火災の3分の
1の人数であるとの結果も
あります。ますますの高齢
化社会を見据え、住宅火災
での逃げ遅れによる犠牲者
を一人でも減らす方策とし
て、高齢者に対する火災報
知器の設置助成をどう考え
るのか伺います。

答（市長）：20年8月
1日現在の市の高齢化率は
16・5％で全国平均よりも
低いものの、今後急速に進
むものと予測しています。
今後の高齢化の進行を考え
ると、火災報知器の設置に
ついては、早急に検討する
必要があると考えますので、
一定条件のもと、設置助成
を検討していきたいと考え
ています。

子ども専用の居場所 コミセンに確保すべき

無会派 三宅 良子



問：最後の児童館であつ
た河原口児童館がなくなり
ます。厚木市にある37の
児童館は、いつでもだれで
も利用できる遊び場であり、
伊勢原市には13館、大和
市には22館あります。放
課後子どもプランでは地域
社会の中で子どもたちの安
全で健やかな居場所づくり
を推進しています。すなわ
ち児童館のような居場所が、
身近な地域に必要です。柏
ヶ谷地域は人口的にも過密
で、子どもの人数も多い地
域です。コミセンの利用率
も高く、利用形態は大人優
先であり、子どもたちにと
っては、使い勝手が良いと
は思えません。柏ヶ谷コミ
セン増改築設計の年にあた



▲次は何して遊ぶ？（大谷コミセンで）

ゲリラ豪雨に備え 早急に雨水管渠整備を

新政海クラブ 森下 賢人



問：現在、公共下水道雨
水管に接続できている地域
はわずかで、雨水処理は敷
地内で行っている地域がほ
んどと思われます。今年
の梅雨から夏にかけてのい
わゆるゲリラ豪雨による市
内での被害は2件と少数で
ありましたが、現状の雨水
処理能力では不安を感じる
箇所もあります。

第四次総合計画にもある
雨水管渠整備の状況につ
いて伺います。

答（市長）：第四次総合
計画では、公共下水道雨水
管渠整備延長を具体的な目
標として掲げ、今後も着実
に事業を進めていきたいと
考えます。また市内には地
形的な要因により、整備が



▲水位の上昇は周辺に危険をもたらす…

障害者↓障がい者へ マイナスイメージ緩和

市政クラブ 太田 祐介



問：一般的に使用される
「障害」という言葉の「害」
という字は、「公害」「災害」
など否定的イメージが強く、
「障害者」という表記はピ
ープルファースト（障がい
者である前に人間である）
の理念から適切でないとい
う考え方が広まっています。
そこで、「害」の漢字を平
仮名で表記することで、マ
イナスイメージを和らげる
動きが広がっております。
市が、市の考えを伺います。

答（市長）：障がい者施
策の推進には、当事者の思
いを大切にして取り組むこ
とが重要と考えます。障
がい者の表記に「害」とい
う字を使用することは、不
快に感じる方もいるため、
障がい福祉課では窓口配布文
書の「害」の字を平仮名で
表記しています。

答（保健福祉部次長）：
今後も関係団体と連携を取
りながら、平仮名表記の周
知を図ります。庁内では表
示板の改修に合わせて課名
表示を変更していきます。